



第76期
(2024年3月期)
第2四半期 決算説明資料

2023年 11月10日

トーイン株式会社

証券コード：7923



第76期 第2四半期 連結決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が概ね落ち着いたを取り戻し、訪日外国人によるインバウンド需要には一部本格的な回復が見られたものの、資源・エネルギー価格や消費者物価が引続き高水準で推移したため、個人消費は低調に推移しました。

このため、包装資材業界においては、消費者の節約志向が定着したことなどを受け、引き続き厳しい事業環境にて推移しました。

当社グループは、このような状況のもと、お客様に当社製品を安定的に供給することを最優先としつつ、業容の拡大を目指し、新規分野の開拓、差別化された商品・技術の開発等に注力したほか、エネルギー、諸資材価格や物流コストの上昇を吸収すべく、諸施策を継続してまいりました。

包装資材事業においては、売上面に関しては、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心に当社製品の優位性のアピールを軸とする企画提案型の営業活動を継続的に実施するとともに、エネルギー、諸資材価格や物流コストの上昇を吸収すべく、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいりました。

その結果、国内の売上高は、食品、化粧品分野がそれぞれ底堅く推移し、増収となりました。海外においても、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）、タイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）とも増収となり、売上高は6,147百万円（前年同期比7.6%増）となりました。利益面については、エネルギーや諸資材の価格上昇、物流コストの上昇に対して、採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等を推進した結果、前年同期比では増益となりました。

精密塗工事業は、昨年後半からの半導体関連の需要落ち込みによる電子部材等の在庫調整は一巡しつつあるものの、その回復は力強さを欠いており、売上高は367百万円（前年同期比14.5%減）となりました。利益面については、フレキシブルな生産体制への取り組みや製造コスト管理の徹底に努めたものの、売上高の減少を吸収することが出来ず、前年同期比で減益となりました。

その他事業は、消費者の節約志向等の影響によるアッセンブル事業の受注減を主因として、売上高は230百万円（前年同期比11.4%減）に留まりました。利益面については、引続き柔軟性のある生産体制の編成、物流コストの圧縮等により採算性の確保に努め、売上高の減少を吸収し、前年同期水準を維持しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,745百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は156百万円（前年同期比68.9%増）、経常利益は円安による為替差損益や持分法投資利益を計上したことなどにより260百万円（前年同期比67.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は206百万円（前年同期比140.1%増）となりました。

<当年度（上期）のトピックス>

- 2023年4月 TOINメールマガジン配信開始
- 2023年9月 アセアン最大規模の化粧品見本市 COSMOPROF CBE ASEAN BANGKOK に出展

第76期 第2四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第75期 第2四半期		第76期 第2四半期		対前年 同期比	備 考
売 上 高	6,401	100.0%	6,745	100.0%	344	
売 上 原 価	5,331	83.3	5,586	82.8	255	
売 上 総 利 益	1,069	16.7	1,158	17.2	89	
販売費及び一般管理費	977	15.3	1,002	14.9	25	
営 業 利 益	92	1.4	156	2.3	63	
営 業 外 収 益	85	1.3	124	1.8	38	
営 業 外 費 用	22	0.4	20	0.3	△1	
経 常 利 益	155	2.4	260	3.9	104	
特 別 利 益	28	0.4	19	0.3	△9	
特 別 損 失	20	0.3	46	0.7	26	
税金等調整前四半期純利益	163	2.6	233	3.5	69	
法 人 税 等	78	1.2	27	0.4	△50	
四 半 期 純 利 益	85	1.3	205	3.0	120	
非支配株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	△0	△0.0	△1	△0.0	△0	
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	86	1.3	206	3.1	120	

第76期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第75期		第76期 第2四半期		対前期比	備 考	
流動資産	7,848	43.3 %	8,930	46.1 %	1,081	現金及び預金 売上債権	334 628
固定資産	10,276	56.7	10,424	53.9	148		
有形固定資産	7,479	41.3	7,389	38.3	△90	機械及び装置 建設仮勘定	94 △ 141
無形固定資産	20	0.1	28	0.1	8		
投資その他の資産	2,776	15.3	3,006	15.5	230	投資有価証券	243
<<資産合計>>	18,125	100.0	19,354	100.0	1,229		
流動負債	5,772	31.8	5,930	30.6	157	仕入債務	165
固定負債	3,100	17.2	3,742	19.4	641	長期借入金	744
<<負債合計>>	8,873	49.0	9,672	50.0	799		
株主資本	8,027	44.3	8,183	42.3	156		
資本金	2,244	12.4	2,244	11.6	—		
資本剰余金	2,901	16.0	2,901	15.0	—		
利益剰余金	3,592	19.8	3,749	19.4	156	繰越利益剰余金	160
自己株式	△ 711	△ 3.9	△711	△ 3.7	—		
その他の包括利益累計額	1,180	6.5	1,452	7.5	271	その他有価証券評価差額金 為替換算調整勘定	123 134
非支配株主持分	43	0.2	45	0.2	1		
<<純資産合計>>	9,251	51.0	9,682	50.0	430		
<<負債・純資産合計>>	18,125	100.0	19,354	100.0	1,229		

第76期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

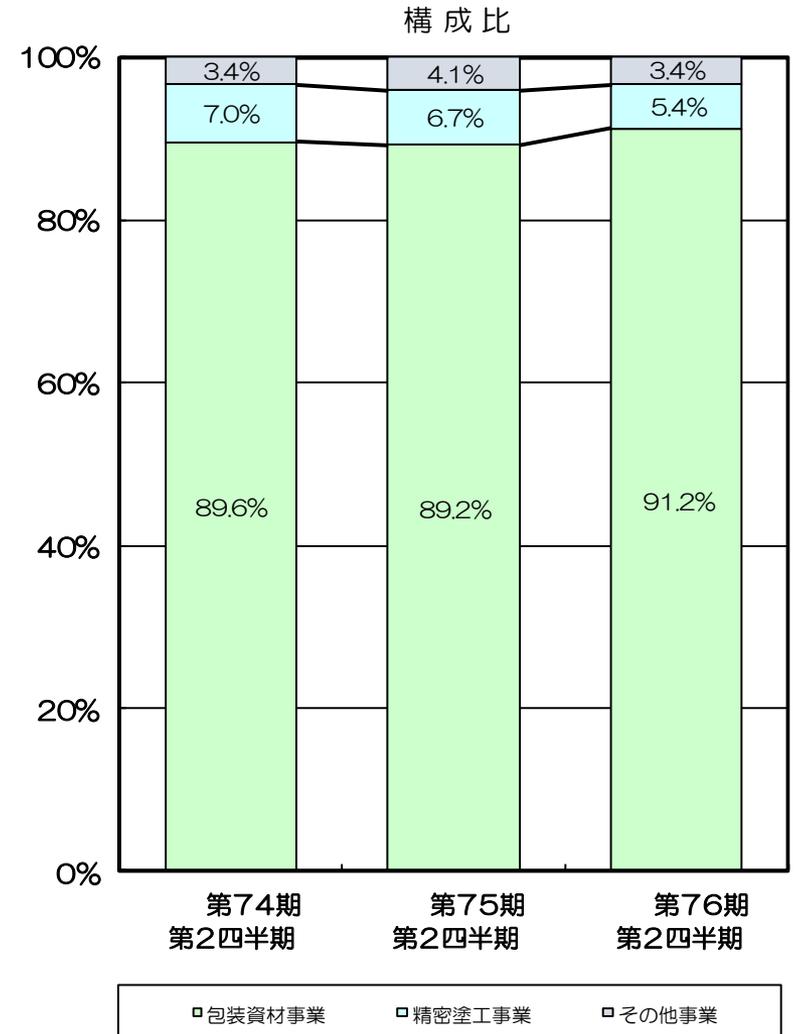
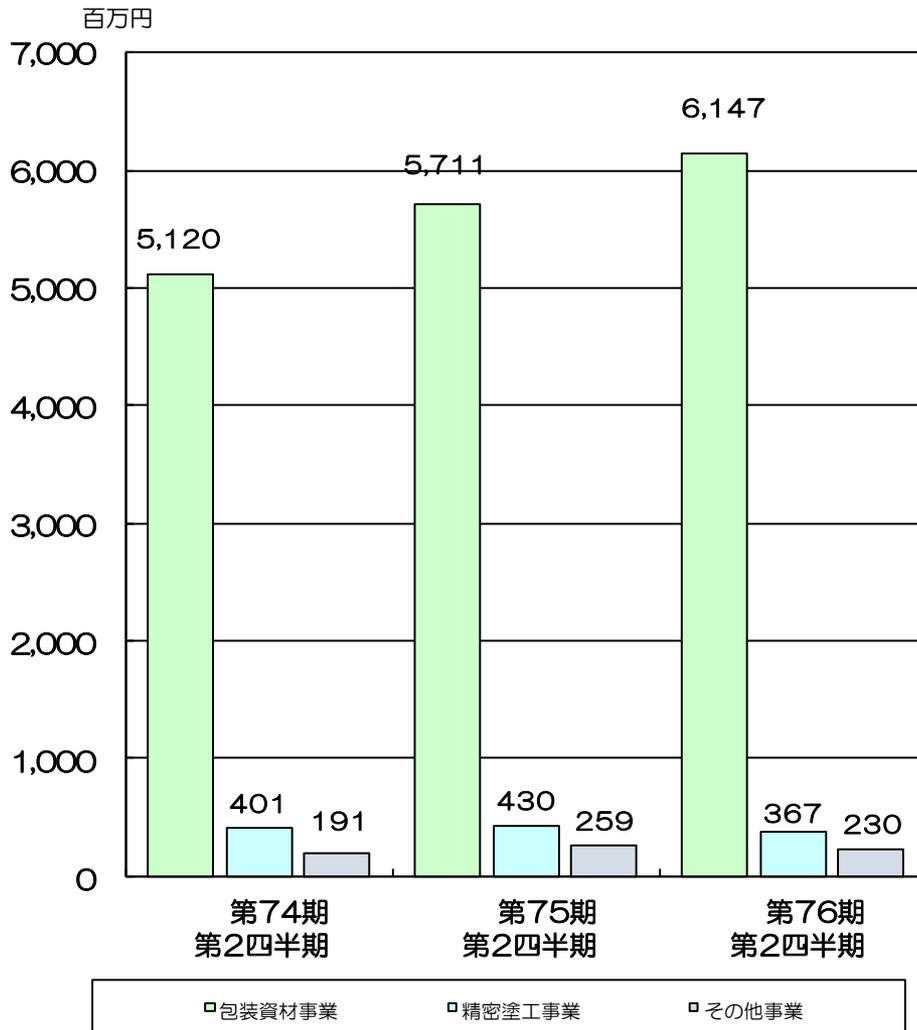
(単位：百万円)

	第75期 第2四半期	第76期 第2四半期	当第2四半期の特記
営業活動によるキャッシュ・フロー	648	△ 35	税金等調整前四半期純利益 233 減価償却費 425 売掛債権の増加 △ 620 たな卸資産の増加 △ 91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 324	△ 364	有形固定資産の取得による支出 △ 376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 167	699	長期借入金による収入 1,200 長期借入金の返済による支出 △ 448
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	33	
現金及び現金同等物の増減額	194	333	
現金及び現金同等物の期首残高	2,318	2,081	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,513	2,415	

売上高の推移（連結）



事業別売上高(連結)

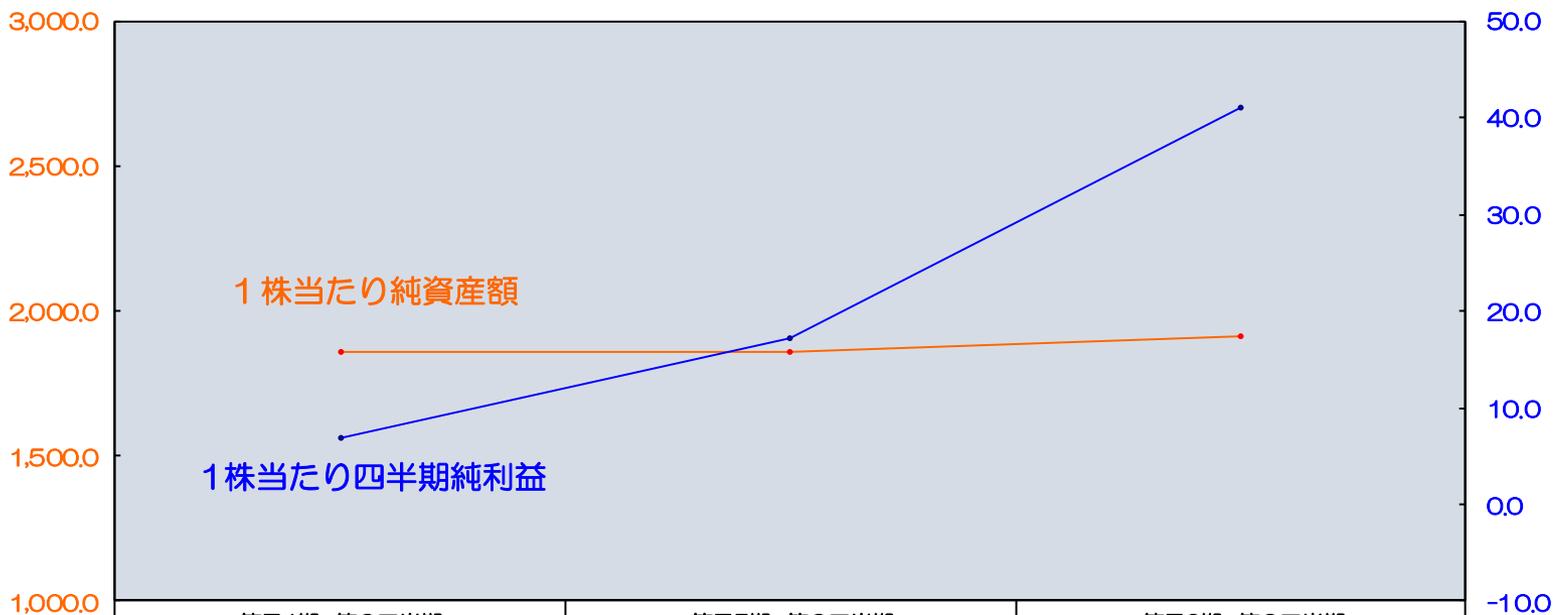


經營指標（連結）

経営指標 I (連結)

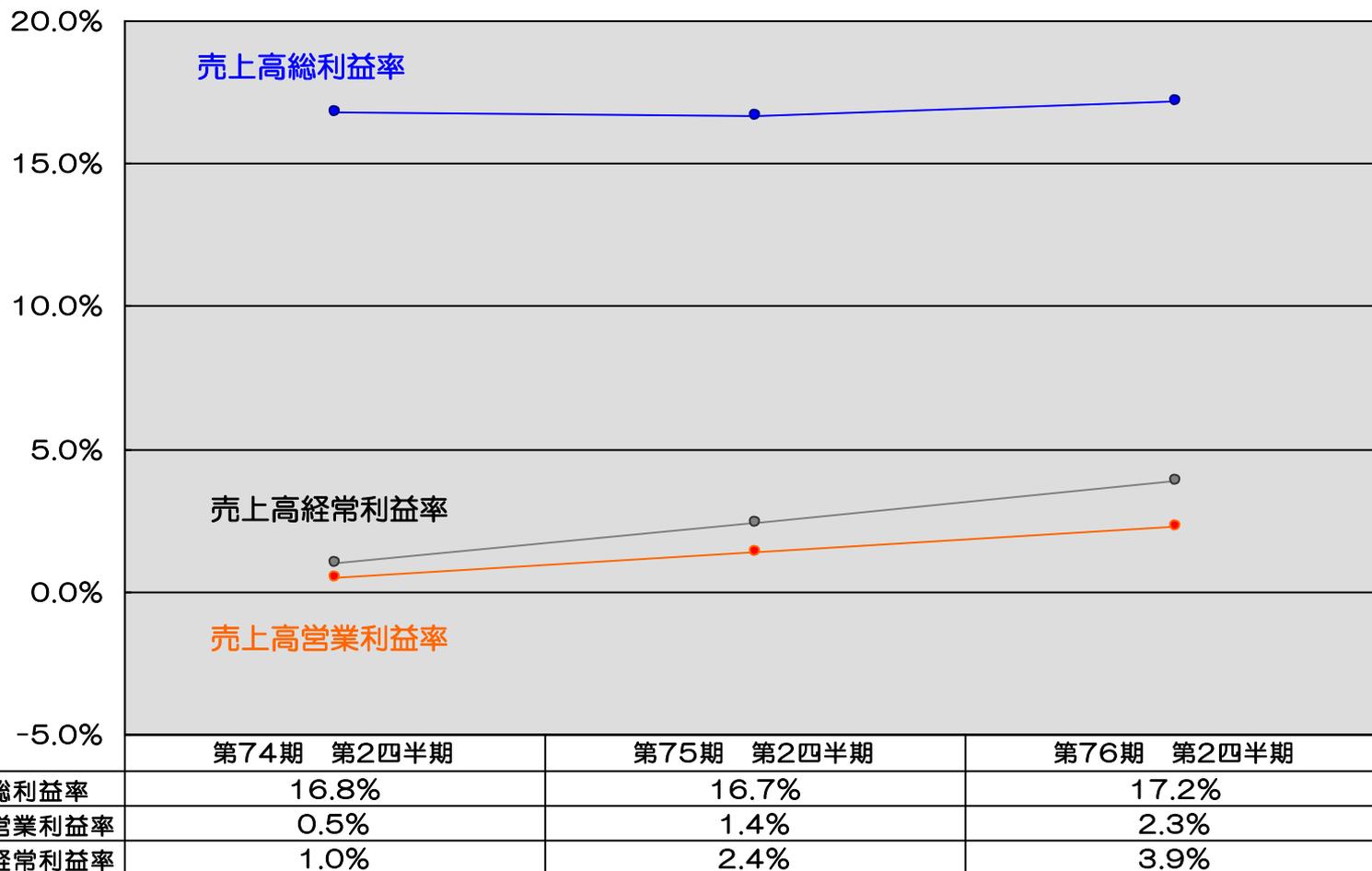
1株当たり純資産額
(円)

1株当たり四半期純利益額
(円)

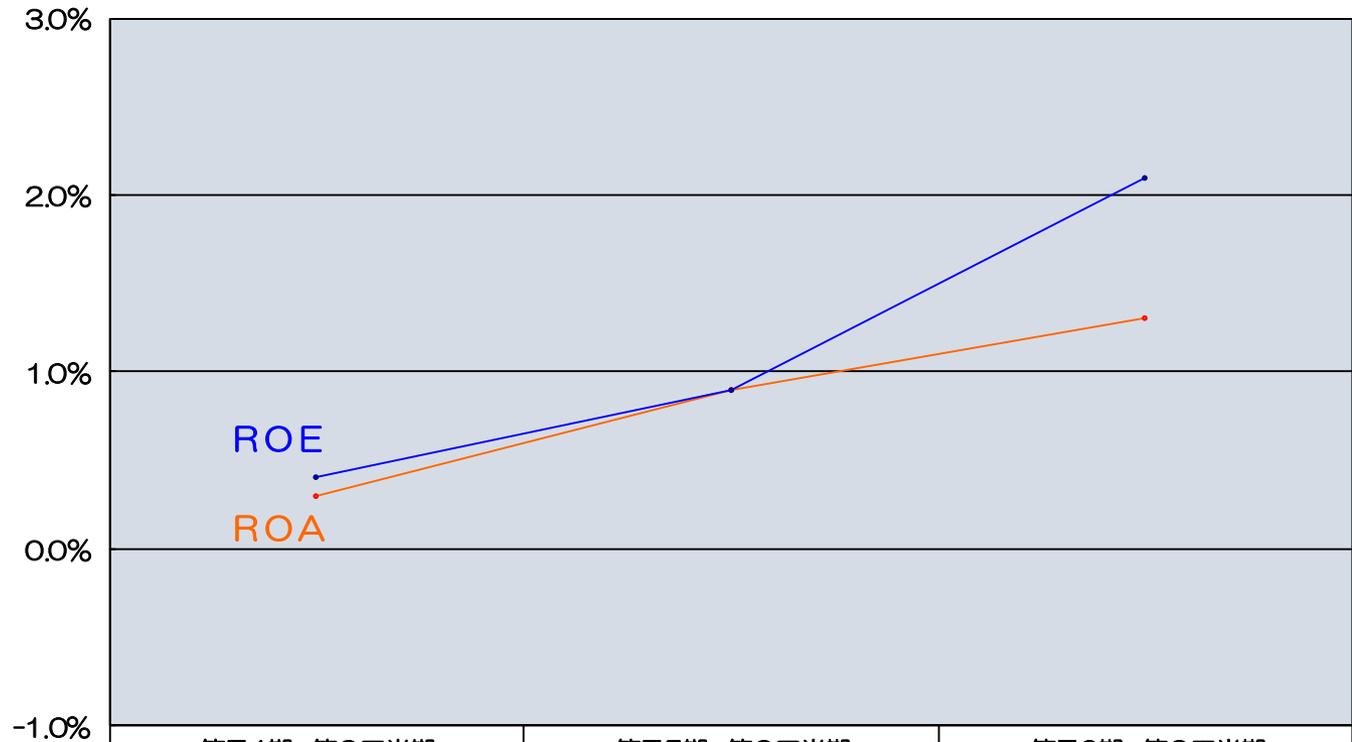


	第74期 第2四半期	第75期 第2四半期	第76期 第2四半期
1株当たり純資産	1,859.90	1,857.28	1,914.52
1株当たり四半期純利益	6.84	17.12	41.11

經營指標 II (連結)



經營指標Ⅲ (連結)



	第74期 第2四半期	第75期 第2四半期	第76期 第2四半期
ROA(総資産經常利益率)	0.3%	0.9%	1.3%
ROE(自己資本四半期純利益率)	0.4%	0.9%	2.1%

第76期 連結業績予想

第76期の連結業績予想について

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せ、インバウンド需要の回復に期待がかかるものの、消費者物価の上昇等を受け、個人消費の本格的な回復には時間を要することが予想されます。また、ロシアによるウクライナ侵攻や原油をはじめとする資源高、円安などを背景に不透明な経済状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、新規事業開発や新技術の開発の強化、スマートファクトリー化・DX化等による生産性向上、環境負荷軽減や人財育成などのESG経営に注力しつつ、新工場構築の検討など将来に向けた事業基盤の再構築を進め、「総合パッケージング企業」への足固めを行ないます。

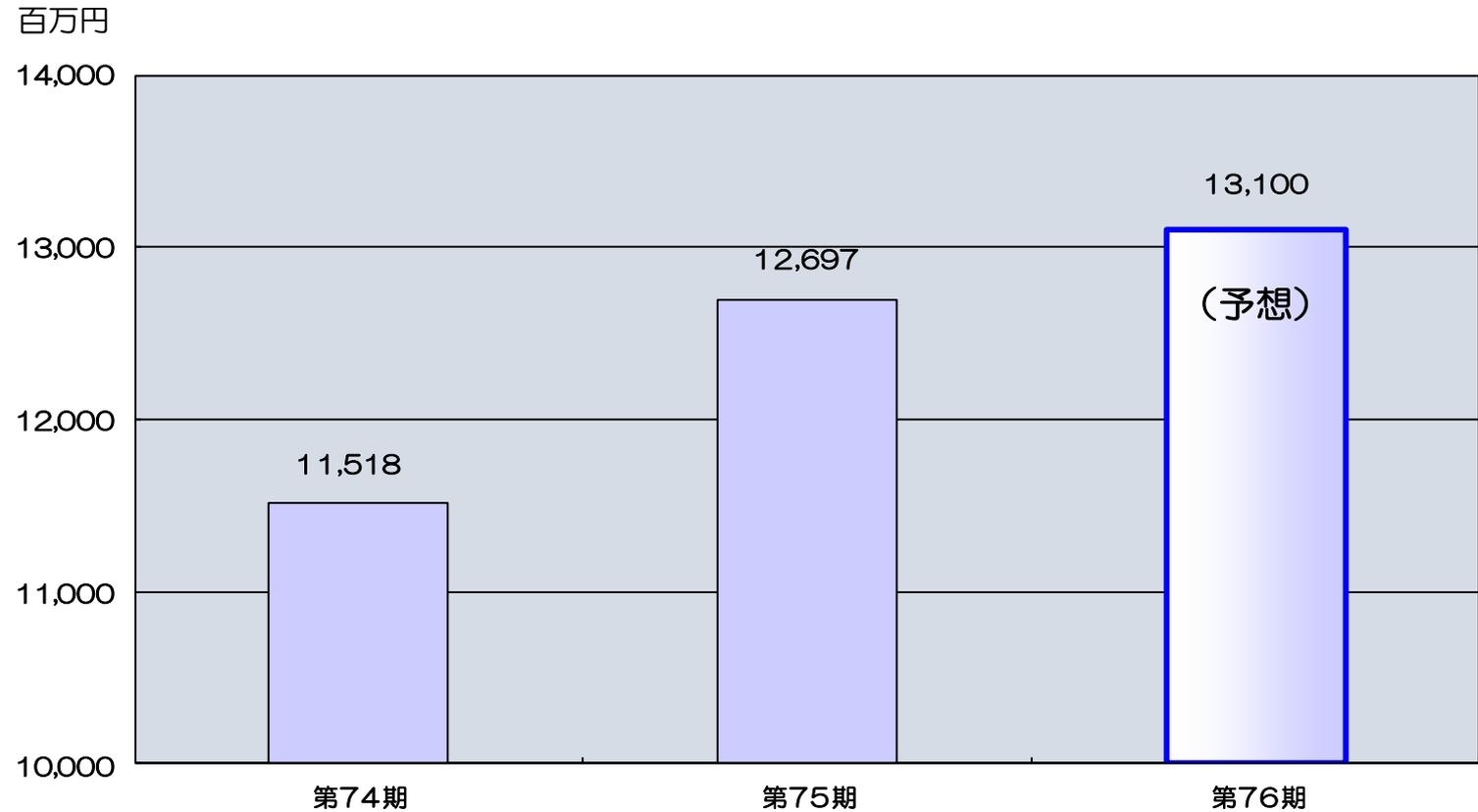
なお、通期の見通しは、売上高13,100百万円、営業利益150百万円、経常利益300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円を見込んでおります。

第76期の連結業績予想

(単位：百万円)

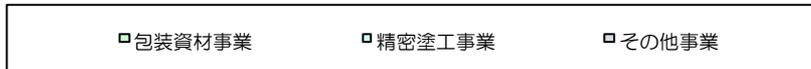
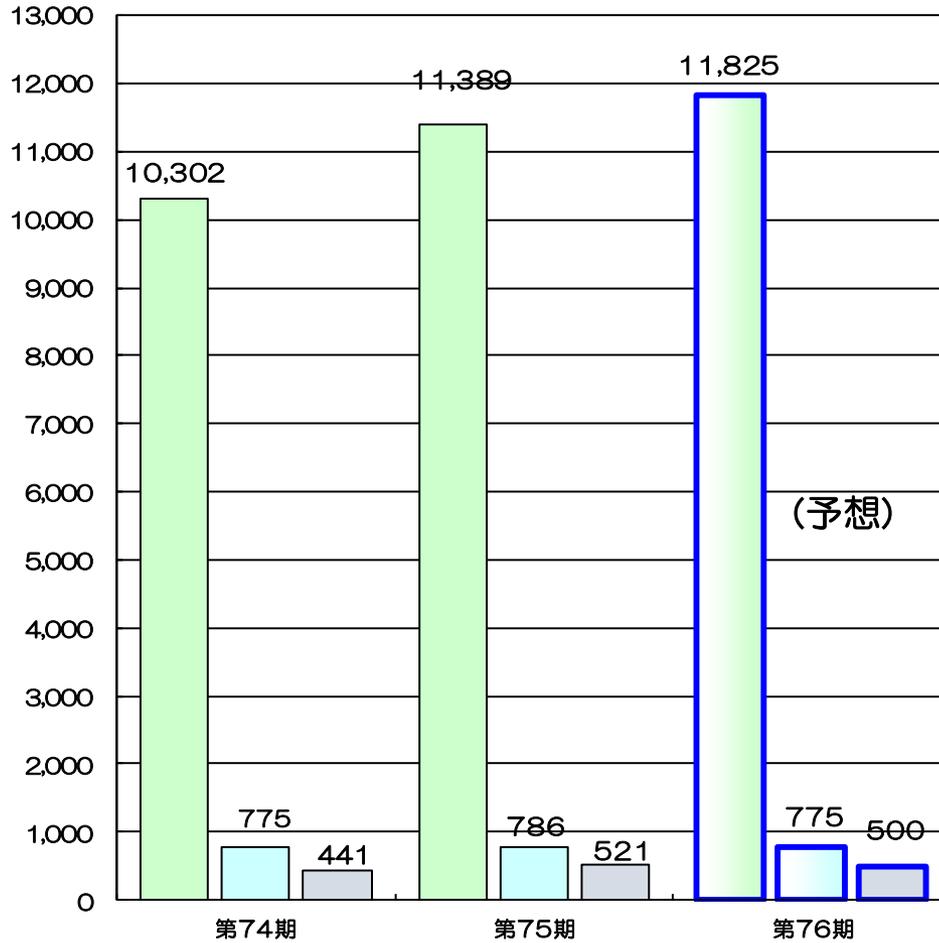
	当第2四半期(実績)		通期(予想)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	6,745	% 100.0	13,100	% 100.0
営業利益	156	2.3	150	1.1
経常利益	260	3.9	300	2.3
親会社株主に 帰属する 当期純利益	206	3.1	250	1.9

通期売上高(連結)

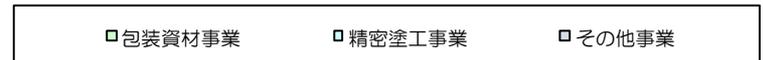
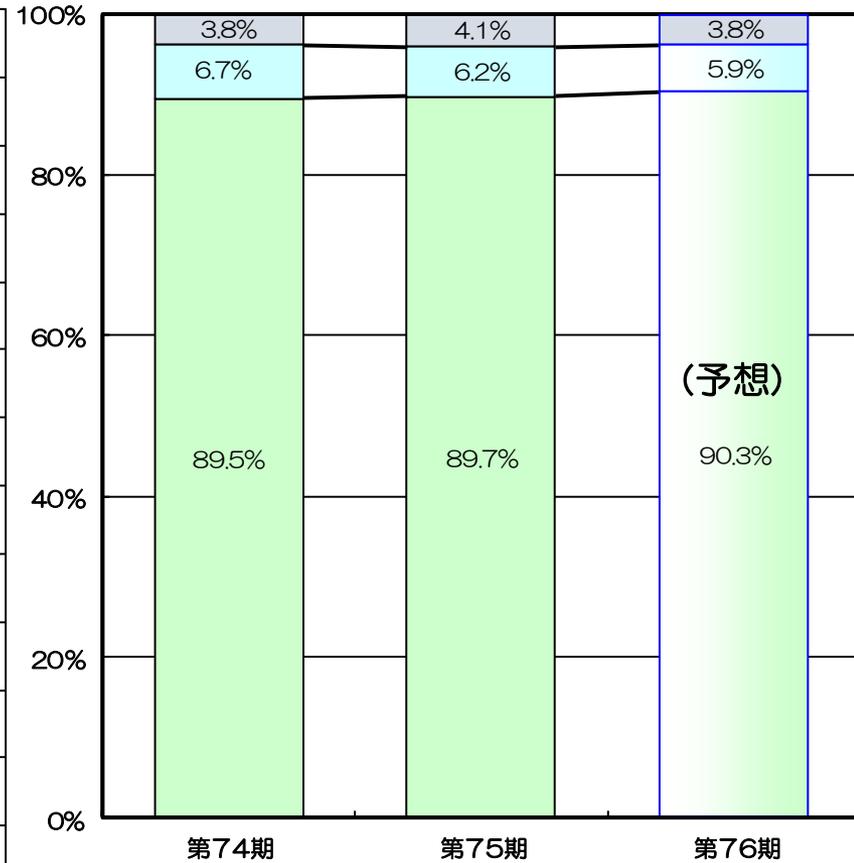


事業別売上高（連結）

百万円



構成比



経営方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

<経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トイン株式会社



《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

◎西日本支社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

◎九州事業所

〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1905-7
TEL：0943-73-7888(代) FAX：0943-73-7999

《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トインタイランド)
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トインベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131